



2009年02月12日
独立行政法人海洋研究開発機構

支援母船「よこすか」での火災発生について

独立行政法人海洋研究開発機構(理事長 加藤康宏)の深海潜水調査船支援母船「よこすか」は、株式会社川崎造船(神戸市)において年次検査工事中、本日2月12日の8時55分に船内から煙が発生しているのを発見しました。

造船所から消防署に通報し消火作業が行われ、9時32分に鎮火しました。
原因等詳細は調査中です。

参考

【深海潜水調査船支援母船「よこすか」】



主要目

全長	: 105m
幅	: 16m
深さ	: 7.3m
喫水	: 4.7m
国際総トン数	: 4,439トン
航海速力	: 約16ノット
航続距離	: 約9,500マイル
定員	: 60名(乗組員27名、 「しんかい6500」運 航要員18名、研究 者等15名)
主推進機関	: ディーゼル機関 2,206kW × 2基
主推進方式	: 可変ピッチプロペ ラ × 2軸

支援母船「よこすか」は、最大潜航深度6,500mの能力を持つ世界最高水準の大深度潜水調査船「しんかい6500」の支援母船として深海底の調査を行います。

他にも、「よこすか」は、深海底表層・断層地形や地質構造を解明するための様々な機能を持ち、深海・海溝域の総合的な調査観測研究を行うことができます。

お問い合わせ先:

独立行政法人海洋研究開発機構
(船舶について)

研究船運航部 運航グループリーダー 赤澤 克文

(報道担当)

経営企画室 報道室長 村田 範之